

チューター制度の概要（チューター利用の手引き）

制度について、わかりやすく Q&A 形式で説明します。

Q. 1 チューターとは？

チューター【tutor】

1 個人指導の教師

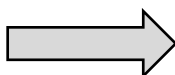
2 講習会などの、講師 出典：デジタル大辞泉（小学館）

一般的に「チューター」とは、上記の定義のような人です。また、大学では留学生等に対して学習面を中心に指導やサポートをする人、企業においては新入社員や若手社員に対して仕事について教える人のことです。しかし本校における「チューター」は、緑高生の皆さんが効果的に課題研究を行うため、研究活動のサポートや実験方法、探究スキルについての指導等を定期的にしてくれる大学院生を指します。

Q. 2 チューターは何をするのですか？

チューターに期待されることは以下の3つのサポートとそれによる波及効果です。

- 1 問い立てのサポート
- 2 調査・研究のサポート
- 3 論証や検証についてのサポート



- 1 科学的思考力・批判能力の向上
- 2 皆さん自身の資質・能力の向上
- 3 身近なロールモデルからの学習

Q. 3 具体的には？

各グループのテーマから実際の研究の問い立てをする際、アドバイス等をしてくれます。それぞれの専門にかかわらず、探究活動を通して科学的思考力・表現力を高めるサポートをしてくれます。研究の進め方について生徒たちの相談に乗り、様子を見て声かけやアドバイスなどをしてくれます。ただし、研究指導については教員が行いますので、誰にどのように相談するか、また、指導教員の指導に従ってどのように研究を進めたら良いのかということや実験手法や研究ノートの書き方、実験を行う際の注意事項など探究スキルに限定してアドバイスをしてくれます。

Q. 4 それでも不安です

疑問や質問など、わからないことを正直に質問してください。受け身になって声をかけてもらえることを待つのではなく、自分から進んで行動してみましょう。基本的には、皆さん自身の研究であり、自分たちの活動です。まずは自分たちで考えを深め、より意義のあるものを目指して取り組んでください。また、研究の過程で失敗したり周囲との調整をしたりすることが必要になります。最終的な発表やレポート作成の時以外にも、研究中、グループでの話し合いの中で予想外の困難や展開もあると思います。しかしそのような体験を通して、皆さん自身に科学的思考力や批判的思考力、他者と自分の意見の調整力や決められた締め切りを念頭に置いてのスケジュール配分、複数の条件等を意識したタイムマネジメント能力、困難や予測不能な状況でもあきらめない力、その他さまざまな資質・能力を高めて立派な緑岡高校生になってもらうことも課題研究の狙いです。最後まで諦めずに取り組んでください。

注意事項

チューターは普通の大学院生であり、万能な指導者ではありません。皆さんが研究をする中でチューター自身ができないことやわからないこともあります。その際、正直にわからないことを「わからない」と言ってくれたり、対応の仕方などについてアドバイスをくれたりします。それらを参考にして、皆さん自身の力で課題解決に向けて最大限の努力をしてください。皆さんの中には、将来、大学院に進学する生徒もいると思います。チューターとして、本校などで後輩の指導をすることもあるかも知れません。そのことを頭の片隅に置き、チューターを将来の自分の姿というイメージを持って活動すると良いでしょう。

なお、高校生としてチューターに接する際には、以下の6点が大切です。

1. 相手の立場に立った言動をとること
2. 十分なコミュニケーションをとること
3. お互いに適切な距離をとること
4. 相手の対応可能な範囲を越えないこと
5. 連絡先等の交換をしないこと
6. 状況により、感染症対策などを徹底すること

プライバシーについて

お互いのプライバシーを守りましょう。サポートの過程でチューターのプライバシーを知ることもあると思います。チューター個人の名前を出したり話題にしたりすることは避けましょう。SNS への書き込みや写真・動画のアップロード等は、チューターやその周囲をトラブルに巻き込む可能性があります。チューターを担当してもらっていることだけでなく、担当中に起こった出来事や相談内容を SNS 等に投稿するなどの行為も控えてください。不注意や不用意な行為により、チューターや周囲の人々を傷つけたり、周囲の信頼を裏切ったりすることになりかねません。常に相手の立場や状況を考えた振る舞いを心がけてください。